

受験番号

次世代学校教育創成
サブプログラム

令和5年度
筑波大学大学院 教育学学位プログラム 博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題（10月実施）

共通科目

(10:00～11:30)

解答要領

次の事項に注意して解答しなさい。

1. 「解答はじめ」の合図があるまでは解答を始めてはいけません。
2. 「解答やめ」の合図があれば直ちに筆記用具を置いてください。合図の後も筆記用具を持っている場合には不正行為と見なします。
3. 共通科目の問題には「教育原理に関する問題」と「教育心理に関する問題」があります。問題用紙の枚数は「教育原理に関する問題」が4枚、「教育心理に関する問題」が3枚です。
4. 「教育原理に関する問題」と「教育心理に関する問題」の答案用紙はそれぞれ1枚です。「教育原理に関する問題」と「教育心理に関する問題」はそれぞれ2問ずつありますので、すべて解答してください。
5. 答案用紙のホチキスは、外して解答してください。

【 令和5年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

受験番号	領域名
------	-----

共通科目（ 「教育原理に関する問題」 ） 4枚のうち 1枚目

問題1 次の（ ）の中にあてはまる適切な用語を、次ページに示した選択肢の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 大正期の新教育運動には、芸術教育運動、新学校設立運動などがある。芸術教育運動では、子どものための文芸雑誌『赤い鳥』を創刊した（ ① ）、学校の唱歌を批判し「ペチカ」や「待ちぼうけ」などの童謡の作詞を数多く手がけた（ ② ）などがある。また、新学校設立運動では、野口援太郎らにより（ ③ ）が設立され、児童の興味や関心を最大に生かす教育が行われた。一方、師範学校附属小学校でも、千葉師範附属小学校の（ ④ ）による自学自習の教育などが行われた。
- (2) 学校教育の社会的機能に関する教育社会学の研究では、社会化機能、選別・配分機能などが明らかにされてきた。社会化機能については、意図的計画的に共通の知識や価値を子どもに内面化させる「顕在的カリキュラム」に対して、表立って語られることなく暗黙の了解のもとで伝達される規範や価値の体系として「（ ⑤ ）的カリキュラム」が指摘されている。選別・配分機能については、M.D. ヤングが、業績主義による社会的地位配分が進み、能力を有するものがそれに応じた地位を獲得し社会を統治することを（ ⑥ ）と呼んでいる。また、（ ⑦ ）はアメリカの研究成果を踏まえ教育システムが階級文化の諸形態の世代間伝達の機能を果たしていることを指摘し、また、（ ⑧ ）は精密コードと制限コードという概念を用いて学校内での階級の文化的な再生産のプロセスを明らかにした。
- (3) 教育課程は、たとえば中学校の場合は、各教科、道徳、総合的な学習の時間と特別活動から編成される。このうち、特別活動は、小学校では、学級活動、児童会活動、（ ⑨ ）、学校行事の4つの内容から構成され、高等学校では、（ ⑩ ）、生徒会活動、学校行事の3つの内容から構成されている。また、学校行事は、儀式的行事（入学式や卒業式等）、文化的行事（文化祭や芸術鑑賞等）、旅行・集団宿泊的行事（（ ⑪ ）や修学旅行等）、健康安全・体育的行事（体育祭等）、勤労生産・奉仕的行事（（ ⑫ ）やボランティア活動）の5つから成り立っている。
- (4) 1998年の（ ⑬ ）の改正により制度化された中高一貫教育は、3種類、すなわち、中等教育学校、（ ⑭ ）型、連携型に分けられる。このうち中等教育学校は、法令によりその目的は「義務教育として行われる普通教育並びに高度な普通教育及び（ ⑮ ）を一貫して施すこと」と定められている。

【 令和5年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目（ 「教育原理に関する問題」 ）

4枚のうち 2枚目

選択肢（使わない用語もある）

- | | | |
|---------------|--------------|----------------|
| (ア) 学校教育法 | (イ) 接続 | (ウ) E. デュルケーム |
| (エ) メリトクラシー | (オ) 北原白秋 | (カ) 遠足 |
| (キ) 池袋児童の村小学校 | (ク) 教育基本法 | (ケ) アリストクラシー |
| (コ) 併設 | (サ) 鈴木三重吉 | (シ) 職場体験 |
| (ス) T. パーソンズ | (セ) 芸術鑑賞 | (ソ) B. パーンステイン |
| (タ) キャリア教育 | (チ) ホームルーム活動 | (ツ) 一貫 |
| (テ) 部活動 | (ト) S. ボールズ | (ナ) 学校教育法施行規則 |
| (ニ) 成城小学校 | (ヌ) 沢柳政太郎 | (ネ) 芥川龍之介 |
| (ノ) 手塚岸衛 | (ハ) 学級活動 | (ヒ) 合唱コンクール |
| (フ) 専門教育 | (ヘ) 個別 | (ホ) 再生産 |
| (マ) 潜在 | (ミ) 山田耕筰 | (ム) クラブ活動 |

【 令和5年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目（ 「教育原理に関する問題」 ）

4枚のうち 3枚目

問題2 A群の説明にもっとも関係の深い用語を、次ページに示したB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- (1) ベルとランカスターによって開発された学級における教授法であり、学級内を小集団に分けて学力の高い年長者が各集団を担当し、教師に教えられたことを教えていく方式をとる。
- (2) 教師に独特の知識の形態とされ、教育内容を教授可能性の点から最も適切な形に具体化するために、複数の知識が結合されたものである。
- (3) 教育機関や文化施設から支援を必要とする地域の人びとにサービスを届ける方法のことで、学校教育だけでなく成人教育や社会教育のあり方にも大きな影響を与えた。
- (4) 教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する職であり、2014(平成26)年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、地方公共団体の首長が任命することになった。
- (5) 教育活動における診断的評価・形成的評価・総括的評価という3つの評価機能を組み込んだ完全習得学習(mastery learning)を提唱した。
- (6) 「カルテ」を活用した教育実践と授業研究の方法を追究し、人間理解を根底に据えた教師論と授業研究論を築いた。
- (7) 教育刷新委員会の委員として教育基本法の制定等に携わり、戦後日本における教育理念と教育制度の形成において大きな役割を果たした哲学者である。
- (8) “OECD Future of Education and Skills 2030”において、学校や教師、生徒に過大な負担を生じさせている、各国共通のカリキュラム課題とされた。
- (9) 2019(平成31)年度から導入され、全国すべての大学の教職課程で共通に修得すべき資質能力を示すものとして活用することが求められている。
- (10) 1994(平成6)年に「特別なニーズ教育に関する世界会議」が開催され、学校教育を受けることが困難なすべての人々を包摂する学校制度を確立していくことについて、世界的な合意がなされた。

【 令和5年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目（ 「教育原理に関する問題」 ）

4枚のうち 4枚目

【B群】（使わない用語もある）

- (ア) モニトリアル・システム (monitorial system)
- (イ) GCK (General Content Knowledge)
- (ウ) 上田薫
- (エ) 教員養成のモデル・コア・カリキュラム
- (オ) アウトリーチ (outreach)
- (カ) ギャラリー方式 (gallery lesson)
- (キ) 教育委員長
- (ク) ブルーム (Bloom, B. S.)
- (ケ) 教育長
- (コ) 世界人権宣言 (Universal Declaration of Human Rights)
- (サ) 務台理作
- (シ) 社会に開かれた教育課程
- (ス) 東井義雄
- (セ) カリキュラム・ポリシー (curriculum policy)
- (ソ) 宮原誠一
- (タ) PCK (Pedagogical Content Knowledge)
- (チ) ブルーナー (Bruner, J. S.)
- (ツ) カリキュラム・オーバーロード (curriculum overload)
- (テ) 教職課程コアカリキュラム
- (ト) サラマンカ宣言 (The Salamanca Statement)

【 令和5年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

受験番号	領域名
------	-----

共通科目（ 「教育心理に関する問題」 ） 3枚のうち 1枚目

問題1 A群の説明にもっとも関係の深い用語を、次ページに示したB群の中から一つ
選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- (1) 絶対臥褥期には、食事や排泄のほかは寝て過ごすことが求められる。
- (2) 行動療法の代表的な治療法の一つである。
- (3) 誕生から生後4ヶ月前後までの乳児においてみられる。
- (4) 5因子理論などが含まれる。
- (5) 教育においては、子どもが主体的・能動的に挑戦できるような範囲に合わせて課題を設定することが重要である。
- (6) エリクソンによって用いられた概念である。
- (7) 人が持つ原初的な傾向とされ、主体と対象とが一体的で未分化な幼児に典型的にみられる。
- (8) 記憶に保持されている情報の産出のことを指す。
- (9) 自発的な行動に基づく条件づけを説明する図式である。
- (10) 動機づけ研究において見いだされた。

【 令和5年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目（ 「教育心理に関する問題」 ） 3枚のうち 2枚目

【B群】（使わない用語もある）

- (ア) 森田療法 (Morita therapy)
- (イ) モラトリアム (moratorium)
- (ウ) モロー反射 (Moro reflex)
- (エ) 保存性 (conservation)
- (オ) アンダーマイニング効果 (undermining effect)
- (カ) 発達の最近接領域 (zone of proximal development)
- (キ) CHC理論 (CHC theory)
- (ク) 系統的脱感作法 (systematic desensitization)
- (ケ) ストレンジ・シチュエーション法 (strange situation procedure)
- (コ) 再生 (recall)
- (サ) ダブルバインド (double bind)
- (シ) 特性論 (trait theory)
- (ス) 三項強化随伴性 (three term contingency of reinforcement)
- (セ) ツァイガルニク効果 (Zeigarnik effect)
- (ソ) 反復効果 (repetition effect)
- (タ) 相貌的知覚 (physiognomic perception)

【 令和5年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目 (「教育心理に関する問題」) 3枚のうち 3枚目

問題2 A群の人名にもっとも関係の深い用語をB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| (1) ラザルス (Lazarus, R. S.) | (2) バウアー (Bower, G. H.) |
| (3) フランクル (Frankl, V. E.) | (4) ハイダー (Heider, F.) |
| (5)フロイト (Freud, S.) | (6) スキナー (Skinner, B. F.) |
| (7) ラタネ (Latané, B.) | (8) クロンバック (Cronbach, L. J.) |
| (9) ローレンツ (Lorenz, K. Z.) | (10) ガードナー (Gardner, H.) |

【B群】(使わない用語もある)

- | | |
|--|--|
| (ア) アクセプトランス&コミットメント・セラピー
(acceptance and commitment therapy) | (イ) バランス理論
(balance theory) |
| (ウ) 傍観者効果
(bystander effect) | (エ) 古典的条件づけ
(classical conditioning) |
| (オ) コーピング
(coping) | (カ) リビドー
(libido) |
| (キ) 欠乏動機
(deficiency motivation) | (ク) 情動知能
(emotional intelligence) |
| (ケ) 刷り込み
(imprinting) | (コ) 適性処遇交互作用
(aptitude treatment interaction) |
| (サ) ログセラピー
(logotherapy) | (シ) 単純接触効果
(mere exposure effect) |
| (ス) 気分一致効果
(mood congruency effect) | (セ) 音楽的知能
(musical intelligence) |
| (ソ) プログラム学習
(programmed learning) | |